

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社プロネクサス
 コード番号 7893 URL <https://www.pronexus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 剛史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 高松 純 TEL 03-5777-3111
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	20,737	5.3	2,952	9.1	3,055	5.1	2,096	3.7	2,090	3.8	2,507	10.4
2021年3月期第3四半期	19,702	2.4	2,707	△2.1	2,906	3.6	2,020	5.6	2,014	5.5	2,270	13.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	80.50	—
2021年3月期第3四半期	74.81	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	35,585	23,909	23,877	67.1
2021年3月期	36,337	23,452	23,423	64.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	17.00	—	16.00	33.00
2022年3月期	—	16.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2021年3月期第2四半期末配当金17円00銭は、普通配当15円00銭と創業90周年記念配当2円00銭の合計額です。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	2.0	2,200	3.3	2,200	△12.1	1,520	△10.4	1,520	△10.1	58.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	27,716,688株	2021年3月期	28,716,688株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,207,421株	2021年3月期	2,031,321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	25,969,302株	2021年3月期3Q	26,919,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社Webサイトに掲載する予定です。また、第2四半期及び期末の決算説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、また現在多くの方が在宅勤務等を実施されていると想定されることから、会場での開催を見合わせ、後日、決算に関する説明動画（録画）の配信を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① わが国経済の状況

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）におけるわが国経済は、年末にかけて新型コロナウイルス感染症の拡大が一時落ち着き中、足元において個人消費の一部に持ち直しの動きがみられ、企業業績は前年同期に比べ回復傾向にありました。一方、同感染症の変異株の感染拡大による国内外経済への影響は、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社事業と関連性が強い国内証券市場におきましては、中国の不動産リスクの顕在化や、諸外国における新型コロナウイルス変異株の感染拡大等による株価の下落があったものの、国内企業の業績回復に伴い、日経平均株価は28,000円台（前年同期は23,000円台）を中心に推移いたしました。

② 業績の概況

当第3四半期は、2021年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードを背景として、投資家への情報提供をさらに強化する動きが高まったことや、前年同期に比べて国内証券市場・J-REIT市場が回復したことや投資信託への資金流入が続いたこと等から、関連製品の受注が増加しました。この結果、当第3四半期の連結売上収益は、前年同期比1,036百万円増（同5.3%増）の20,737百万円となりました。

利益面では、外注費及び体制強化に伴う労務費・人件費が増加したものの、増収効果により営業利益は前年同期比245百万円増（同9.1%増）の2,952百万円となりました。また、税引前四半期利益は前年同期比149百万円増（同5.1%増）の3,055百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比77百万円増（同3.8%増）の2,090百万円となりました。

1) 製品別の販売動向

<上場会社ディスクロージャー関連>

主力製品である株主総会招集通知については、従来からのカラー化・情報拡充に加え、個人株主数の増加により受注単価が上昇しました。また、業務効率化ニーズの高まりを受け、開示書類作成アウトソーシングサービスの増収が寄与したほか、国内証券市場の回復に伴い、IPO関連製品の受注も拡大いたしました。これらの結果、上場会社ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比263百万円増（同3.0%増）の9,047百万円となりました。

<上場会社IR関連等>

改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応を背景として、英文翻訳サービスの受注が増加するとともに、前年同期はコロナ禍により規模を縮小していた株主総会のビジュアル化サービスや、バーチャル株主総会支援サービスの受注が増加しました。これらの結果、上場会社IR関連等の売上収益は、前年同期比551百万円増（同10.6%増）の5,729百万円となりました。

<金融商品ディスクロージャー関連>

J-REIT市場の回復に伴うファイナンス・IPOの増加や、外国債券の発行が前年同期に比べて改善したことで、関連製品の受注が増加したことに加え、投資信託の各種販促ツールの受注拡大等から、金融商品ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比235百万円増（同4.8%増）の5,157百万円となりました。

<データベース関連>

データベース関連では新規顧客の受注があったものの、既存顧客との契約更改に際し、一部解約や単価ダウンがありました。その結果、データベース関連の売上収益は、前年同期比13百万円減（同1.6%減）の804百万円となりました。

なお、グループシナジーを最大化すべく、当社のデータベース事業を簡易吸収分割により連結子会社である株式会社アイ・エヌ情報センターに承継（2021年5月）させ、データベース事業の再編を実施いたしました。

(製品区分別売上収益)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減 (△印減)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
上場会社ディスクロージャー関連	8,784,424	44.6	9,047,140	43.6	262,716	3.0
上場会社IR関連等	5,178,537	26.3	5,729,140	27.6	550,603	10.6
金融商品ディスクロージャー関連	4,922,187	25.0	5,157,305	24.9	235,117	4.8
データベース関連	816,511	4.1	803,685	3.9	△12,826	△1.6
合計	19,701,660	100.0	20,737,270	100.0	1,035,610	5.3

(注) 金額は販売価格によっております。

2) 利益の概況

当第3四半期の売上収益は、データベース関連を除く各製品区分において前年同期を上回り、1,036百万円増加しました。一方売上原価は、受注増に対応する外注費の増加やサービス体制の強化による労務費の増加を主因として、575百万円増加し、売上原価率は前年同期比0.2ポイント減の59.4%となりました。この結果、売上総利益は前年同期比461百万円増(同5.8%増)の8,412百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は営業体制強化に伴う人件費増加等により、前年同期比188百万円増(同3.5%増)の5,486百万円となったものの、増収効果により販売費及び一般管理費率は前年同期比0.4ポイント減の26.5%となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比245百万円増(同9.1%増)の2,952百万円となりました。

また、金融収益を65百万円、金融費用を5百万円、持分法による投資利益を43百万円それぞれ計上し、税引前四半期利益は前年同期比149百万円増(同5.1%増)の3,055百万円となりました。なお、前年同期の税引前四半期利益は、持分法適用関連会社であった株式会社ディスクロージャー・プロの株式を2020年7月に追加取得し、完全子会社化したことに伴う段階取得に係る差益を139百万円計上しております。その結果、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比77百万円増(同3.8%増)の2,090百万円となりました。

③ 第3四半期の季節性

当社グループの売上収益の約3分の2を占める事業会社向け製品・サービスは、顧客の約65%が3月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が第1四半期連結会計期間(4-6月期)に集中します。このため、下表のとおり第1四半期連結会計期間の売上収益が約4割を占め、第3四半期連結会計期間(10-12月期)の売上収益は約2割にとどまります。

(参考) 2021年3月期

	第1四半期 (4-6月期)	第2四半期 (7-9月期)	第3四半期 (10-12月期)	第4四半期 (1-3月期)	年度計
売上収益 (百万円)	9,435	4,955	5,312	5,295	24,997
構成比 (%)	37.7	19.8	21.3	21.2	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ752百万円減少し35,585百万円となりました。主な要因は、営業債権及びその他の債権の減少500百万円及び繰延税金資産の減少441百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,209百万円減少し11,676百万円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務の減少595百万円及びその他の流動負債の減少391百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ456百万円増加し23,909百万円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益2,090百万円の計上による増加と自己株式の取得1,215百万円による減少等であります。この結果、親会社所有者帰属持分比率は、67.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

<当期の見通し>

2021年5月14日公表の2022年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	12,845,107	12,741,190
営業債権及びその他の債権	2,585,575	2,085,113
その他の金融資産	1,733,522	1,756,985
棚卸資産	573,928	554,576
その他の流動資産	286,949	269,608
流動資産合計	18,025,083	17,407,472
非流動資産		
有形固定資産	4,675,332	4,462,804
使用権資産	3,796,143	3,465,060
のれん	466,875	470,703
無形資産	2,530,475	2,686,262
投資不動産	186,322	186,322
持分法で会計処理されている投資	763,050	787,450
その他の金融資産	4,933,152	5,610,429
繰延税金資産	918,943	477,923
その他の非流動資産	41,529	30,221
非流動資産合計	18,311,822	18,177,174
資産合計	36,336,904	35,584,646
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	56,672	103,320
リース負債	824,803	782,778
営業債務及びその他の債務	1,531,750	936,534
未払法人所得税等	465,438	194,992
契約負債	674,124	1,035,066
その他の流動負債	2,751,141	2,359,979
流動負債合計	6,303,927	5,412,668
非流動負債		
借入金	301,652	300,000
リース負債	3,106,445	2,768,647
退職給付に係る負債	2,523,647	2,559,506
引当金	191,390	189,343
その他の非流動負債	457,429	445,777
非流動負債合計	6,580,563	6,263,272
負債合計	12,884,490	11,675,940
資本		
資本金	3,058,651	3,058,651
資本剰余金	4,691,776	4,694,634
自己株式	△2,082,303	△2,269,362
その他の資本の構成要素	721,958	1,132,945
利益剰余金	17,032,541	17,259,791
親会社の所有者に帰属する持分合計	23,422,622	23,876,658
非支配持分	29,792	32,047
資本合計	23,452,414	23,908,706
負債及び資本合計	36,336,904	35,584,646

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	19,701,660	20,737,270
売上原価	△11,749,978	△12,324,949
売上総利益	7,951,682	8,412,321
販売費及び一般管理費	△5,297,854	△5,485,658
その他の収益	62,997	60,756
その他の費用	△10,124	△35,629
営業利益	2,706,701	2,951,789
金融収益	41,614	65,180
金融費用	△6,740	△5,065
持分法による投資利益	25,692	43,239
段階取得に係る再測定による利益	139,122	—
税引前四半期利益	2,906,389	3,055,142
法人所得税費用	△886,423	△959,615
四半期利益	2,019,966	2,095,527
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,013,851	2,090,424
非支配持分	6,115	5,103
四半期利益	2,019,966	2,095,527
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	74.81	80.50
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	2,019,966	2,095,527
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	246,084	388,843
純損益に振り替えられることのない項目合計	246,084	388,843
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	3,957	22,155
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	3,957	22,155
税引後その他の包括利益	250,041	410,998
四半期包括利益	2,270,007	2,506,525
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,263,945	2,501,411
非支配持分	6,063	5,113
四半期包括利益	2,270,007	2,506,525

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
2020年4月1日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,143	△14,370	362,561	348,191
四半期利益						—
その他の包括利益				4,009	246,084	250,093
四半期包括利益合計	—	—	—	4,009	246,084	250,093
自己株式の取得			△189			—
配当金						—
所有者との取引額合計	—	—	△189	—	—	—
2020年12月31日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,332	△10,361	608,645	598,284

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
2020年4月1日時点の残高	18,162,035	22,451,330	54,911	22,506,241
四半期利益	2,013,851	2,013,851	6,115	2,019,966
その他の包括利益		250,093	△52	250,041
四半期包括利益合計	2,013,851	2,263,945	6,063	2,270,007
自己株式の取得		△189		△189
配当金	△861,422	△861,422		△861,422
所有者との取引額合計	△861,422	△861,612	—	△861,612
2020年12月31日時点の残高	19,314,464	23,853,663	60,974	23,914,637

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
2021年4月1日時点の残高	3,058,651	4,691,776	△2,082,303	6,681	715,277	721,958
四半期利益						—
その他の包括利益				22,144	388,843	410,987
四半期包括利益合計	—	—	—	22,144	388,843	410,987
自己株式の取得			△1,215,119			—
自己株式の消却			1,028,060			—
配当金						—
支配継続子会社に対する持分変動		2,858				—
所有者との取引額合計	—	2,858	△187,059	—	—	—
2021年12月31日時点の残高	3,058,651	4,694,634	△2,269,362	28,825	1,104,120	1,132,945

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
2021年4月1日時点の残高	17,032,541	23,422,622	29,792	23,452,414
四半期利益	2,090,424	2,090,424	5,103	2,095,527
その他の包括利益		410,987	10	410,998
四半期包括利益合計	2,090,424	2,501,411	5,113	2,506,525
自己株式の取得		△1,215,119		△1,215,119
自己株式の消却	△1,028,060	—		—
配当金	△835,114	△835,114		△835,114
支配継続子会社に対する持分変動		2,858	△2,858	—
所有者との取引額合計	△1,863,174	△2,047,375	△2,858	△2,050,233
2021年12月31日時点の残高	17,259,791	23,876,658	32,047	23,908,706

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。